



しばた

菖蒲の節 供

かつて越後新発田藩には

城下町にふさわしい

五月五日の風景があった。

今、再び…。

2014

5/1 木 ~ 6/2 月

※旧暦5月5日=今年は6月2日

旧暦と新暦の5月の節供を核に、新発田の大切にしていきたいものを少しだけご紹介させていただきます。

日程は、各施設にて異なりますのでご注意ください。

※詳細についてのお問い合わせは、各施設へお願いします。

企画：一般財団法人北方文化博物館、清水園、「新発田菖蒲の節供」実行委員会

協力：一般社団法人新発田市観光協会、新発田城を愛す会、新発田酒商倶楽部、有限会社宮村製麩所、泉屋染物店、工房寿々蔵、金津焼押味窯、越後亀田竊中宮機業有限会社、御菓子司菊谷、吉原写真館、チッカモッカ、内山商店、キッチンココロ、シバタビプロジェクト、清水園秋祭り実行委員会、街看護network、堀部安兵衛 助太刀隊

後援：新発田市、新発田市教育委員会、武庸会、両町商店会、城下町新発田の景観を考える会、市島酒造株式会社、金升酒造株式会社、宝光寺、長徳寺、瑞雲寺、新潟映像ギャラリー準備会、街角こんぱす株式会社、社会福祉法人愛宕福祉会・特別養護老人ホーム豊浦愛宕の園、新発田鍼灸マッサージ師会

1.「新発田城本丸御殿 端午の節供飾り」図からはじまる物語



新発田城

別名「菖蒲(あやめ)城」。表門と二の丸隅櫓は、国の重要文化財に指定されている。「切込はぎ」と呼ばれる技法で積まれた石垣は美しく、雪国の城特有の海鼠壁は全国的にも珍しい。絵図にある本丸御殿は現存せず、跡地は、新発田歩兵第十六連隊を経て、現在自衛隊の敷地内となっている。



新発田市大手町6 入場無料 開門時間 9:00~17:00

●施設の問い合わせ／

☎0254-23-3132(開門時のみ)

☎0254-22-9534 教育委員会生涯学習課

※「新発田菖蒲の節供」の内容の問い合わせは、ご連絡ください。

江戸時代の新発田城での端午の節供の様子が描かれている一枚の絵図。

この絵に描かれている本丸御殿の玄関も今は無い。

暦も旧暦から新暦へと変わり、季節感も変わり、

時の流れとともに菖蒲や蓬をつかい邪気を払うという風習も忘れられつつある。

絵図にある、甲冑、刀、鯉のぼり、鍾馗様や高砂の絵。それぞれに供えた想いが…。

新暦と旧暦の5月5日をつなく期間を「新発田菖蒲の節供」として、

節供の意義や風習をはじめ、歴史・文化をみつめ直し、

新発田と季節を感じ、子供達が成長して懐かしく思えるような5月の風景を…。

越後新発田より、無病息災を**願**い、節供の風習を**復**古し、季節の風物詩を再**興**する。

※かつて新発田藩領であったところが福島県にもあります。

江戸と平成の新発田鍾馗

～鬼より強い魔力で、邪気を払う～

4/5(土)～(売切れ次第終了)

新発田酒商倶楽部

季節限定酒 大晦しぼりたて生原酒

「新発田鍾馗」の販売

12月発売の純米吟醸酒「大晦」のしぼりたて生原酒。

「本丸御殿端午の節供飾り」図、のぼりに描かれている鍾馗像をラベルに配しました。鍾馗様は魔除けや学業成就の効があるとされ端午の節供に絵や人形が奉納されます。新発田市内13店の酒販店にて発売。

問い合わせ／市島酒造株式会社 ☎0254-22-2350

(月)～(金) 9:00～16:00



「平成の新発田鍾馗」の天然藍染手拭

鍾馗様の魔力をお借りし、邪気を払い子供の成長を願う気持ち…。今も昔も変わらぬ想い。お城に飾られた江戸時代の鍾馗様をもとに新発田の過去と現在をつなぎ、邪気を払い子供達の未来をお守りいただけるように、新発田の藍染織人が、気持ちをこめて描きました。節供飾りとして額などに入れて、お使いください。

問い合わせ／泉屋染物店 ☎0254-22-3216

「本丸御殿端午の節供飾り」図の原画展示

5/1(木)～5/31(土)

新発田市立図書館

新発田市中心4-11-27 ☎0254-22-3101

新発田市立図書館1階ホールにて、新発田城「本丸御殿端午の節供飾り」図の原画を展示。

「新発田城本丸御殿端午の節供飾り」図の陶板壁画と入館料特典

5/1(木)～6/2(月)

カリオン文化館(刀剣伝承館)

新発田市月岡温泉827 ☎0254-32-1121

人間国宝・故天田昭次氏作の刀剣等を展示。2階ロビーには、「新発田城本丸御殿端午の節供飾り」図を写した、世界一の大型陶板(日本産業会技術賞)があります。※「日の丸行進曲」「学びの庭に」の作詞者・有本憲次氏の展示もあります。

期間中、当チラシ持参で入館料100円引き

※チラシ持参者本人、及び同伴者を割引。他の割引制度とは併用できません。

「新発田菖蒲の節供」旧暦菖蒲城編

6/1(日)・6/2(月)

新発田城

江戸時代、旧暦で行われていた端午の節供。当時の季節感をイメージしていただくため、旧暦の節供にあわせ、甲冑や菖蒲を飾ります。「本丸御殿端午の節供飾り」図の再現には程遠いですが、城南庵を今は無き本丸御殿玄関と見立て、甲冑など節供の飾りを行うことで、古の想いを感じていただければと思います。

※当日、アヤメ等の余剰苗がある場合、育てて下さる方に差し上げます。



2. 旧新発田藩下屋敷 清水園で五月の節供を



「新発田菖蒲の節供」清水園編

5/4(日)・5(月) 10:30~15:30

かつて新発田藩下屋敷であった名勝清水園。
お殿様を癒したお庭を眺め、過去(藩)と現在(市)の新発田を…。
そして、鯉織(こいのぼり)の季節を感じてみませんか?

清水園(旧新発田藩下屋敷)
新発田市大栄町7-9-32 ☎0254-22-2659
清水園開園時間/9:00~17:00
<http://www.hoppou-bunka.com/shimizuen/>

入場料特典(清水園・足軽長屋共通)
通常:大人700円、小・中学生300円

当チラシ持参で、大人**500円**(小・中学生は無料)

未来へつなげたい過去(藩)と現在(市)の新発田

【第1章】新発田藩領を含んだ文化の継承 ~新発田藩領を含めた工芸品等の紹介~

【新発田市内】



鯉織デザインの
天然藍染小物他
[泉屋染物店]



「しばた判 金魚台輪」他
手彫りはんこ作品
[チッカモッカ]



厄除けにもつながる土鈴、
金太郎、萬福達磨など
[工房寿々蔵]

【新発田藩領】



清水園の木の葉を
使用した作品
[金津焼押味窯(新津)]



江戸時代を起源とし、
復元された織物 亀田織
[中宮機業有限会社(亀田)]



安兵衛風(三疊)の展示
[しろね大船と
歴史の館(白根)]

未来へつなげたい…

【第3章】五月<五十公野>※蔵回想展

清水園内への移築以前は五十公野にあった酒蔵で、
或る五十公野人の昔を節供に想う



米蔵当時の資料館



昭和初期の絵画展

■五十公野出身の洋画家・相馬其一の絵画紹介
(大正8・9年帝展特選等)
藤谷虹児より以前にパリへ渡り、絵画を学んだ明治の人

■米蔵上映会「旧五十公野・相馬家の写真帖より」
其一の弟(九次)の撮影した大正~昭和初期の写真帖を主に上映を
いたします。
上映予定/11:00~、12:00~、13:00~、14:00~(各15分程度)
主催/新潟映像ギャラリー準備会(長谷川:090-1693-9696)

未来へつなげたい新発田らしい風物詩

【第2章】菖蒲の節供の風景



アヤメや花菖蒲の種を鱗のデザインにした藍染鯉織や
鍾馗様の幟などを飾り、子供の成長
や邪気を払い、無病息災を願います。
米蔵前にて物産等も販売予定。



家老・溝口伊織家 ゆかりの品々 特別展

~戦国武将朝倉義景と堀部安兵衛をつなぐ家系~
5/1(木)~7/31(木)

清水園内「新発田藩資料館(堀部安兵衛伝承館隣)」

伊織家初代の国景は、越前朝倉義景の孫と伝承。母は初代新発田藩主秀勝侯の長女、五女の糸姫は赤穂義士・堀部安兵衛の祖母。伊織家は代々家老などの藩の要職を担い藩政につくした家系。初代国景と八代景武の甲冑が並ぶのは初めて。移築した伊織家の門が残る清水園にて、ゆかりの品々を展示します。



3. 新発田藩主 ゆかりの寺社・ ゆかりの地 旧新発田藩領



五月の浄見堂拝観料特典

5/1(木)～6/1(日)

宝光寺 新発田市諏訪町2-4-7 ☎0254-22-4376

拝観時間/9:00～16:00(月曜休館) <http://www.hokoji.net/>

新発田藩主溝口家の菩提寺。浄見堂には歴代藩主の肖像画、勝軍地蔵、新発田藩版の版木など展示。

期間中、当チラシ持参で拝観料150円

※境内の参拝は自由。

豊田神社例大祭

6/13(金) 豊田神社 新発田市五十公野5403

豊田神社は、新発田藩歴代藩主の御神霊をお祀りしています。例大祭は、荒地を豊かな田となし、越後米の主産地として発展の基を築かれた歴代藩主に、感謝の真を捧げ奉るお祭りです。

※豊田神社奉賛会(神社の維持管理、例大祭の花火打ち上げ等を支援するために設立され、会員を募集しています。)

例大祭奉賛会の問い合わせ/☎0254-22-5724(津野正行)

● 青海神社春季例大祭(加茂まつり)

5/20(宵宮)・21日(本宮) ※御神幸行列は21日

「青海神社春季例大祭」での御神幸行列には、母親が生後1年位の乳児に色あざやかな産衣を着せて参加し、わが子の健やかな成長を祈願することから「乳母まつり」とも呼ばれています。



—青海神社—

青海神社は加茂山にあり、新発田藩主溝口氏に至って社領の寄進、本殿等の造営がなされ、歩くと音を発する廊下(鶯張り廊下)は、1757年に7代藩主溝口直温の命により造営(加茂市指定文化財)されています。上杉謙信の母も、安産祈願をされたと伝わっています。

加茂市大字加茂229番地 ☎0256-52-0671 <http://aomi-jinja.or.jp>
鶯張り廊下/拝観料50円

● 白根大風合戦

6/5(木)～6/9(月)

中ノ口川を挟み、東が新発田藩領、西が村上藩領であった江戸時代より伝わる。豊24豊分の大風の合戦は伝説。



—しろね大風と歴史の館—

世界最大級の風の博物館。白根大風合戦の3D映像や今は廃絶した「新発田の伝統風」の展示もあります。

新潟市南区上下諏訪木1770-1 ☎025-372-0314

開館時間/9:00～17:00(第2-4水曜休館)

観覧料/大人400円、子供200円

※5/4(日)・5(月)「新発田菖蒲の節供」清水園編にて、お借りした3畳の白根の風を展示予定

● 金津焼 押味窯

新潟市秋葉区金津1206
☎0250-24-9543

ギャラリーもあり作品の展示販売もしていますが、不定休なので、来店時ご確認ください。陶芸体験も要相談。

※5/4(日)・5(月)「新発田菖蒲の節供」清水園編にて展示販売予定

● 越後亀田縞 中宮機業有限会社

新潟市江南区曙町1-8-18 ☎025-381-5163

展示会情報や商品の詳細は、<http://www.kamedajima.com/>

※5/4(日)・5(月)「新発田菖蒲の節供」清水園編にて展示販売予定

4. 五月に新発田の先人を偲ぶ

寛文10年5月生まれ堀部安兵衛。また、新発田藩の母・瑞雲院様は寛永11年5月17日(380年前)、落谷虹児は、昭和54年5月6日(35年前)が命日。そして新発田16連隊があった軍都には、多くの戦死者が…。菖蒲花咲く頃、当時を偲んでみませんか

堀部安兵衛武庸 生誕地まつり

5/1(木)～5/31(土)

高田馬場の助太刀で名を挙げ、赤穂義士として主君の仇討を果たした、堀部(中山)安兵衛。その誕生を祝い、1か月間様々な催しが行われます。

問い合わせ/(一社)新発田市観光協会 ☎0254-26-6789



越佐招魂祭

5/3(土・祝) 10:00～11:00

西公園 新発田市西園町3丁目

戦没者の法要や、霊の弔慰(ちょうい)を行なう祭りです。剣の刃の形をした越佐招魂碑(明治31年建造)は、進駐軍による取り壊しの危機に、身を挺し守った先人達の想いが込められています。納骨堂の「忠霊」の掲額は、新発田にゆかりある今村均大将によるもの。
◎越佐招魂社祭典委員会 事務局(若木 ☎0254-24-0913)



落谷虹児記念館 入館料割引特典

御命日5/6に絵画鑑賞しませんか?

5/1(木)～6/1(日)

落谷虹児記念館 新発田市中央町4-11-7 ☎0254-23-1013

<http://www.fukiyakoji-museum.com/>

休館日 月曜日(祝日の場合翌日)12/29～1/3

入館料 大人500円 高校生200円/小・中学生100円

期間中、当チラシ持参で入館料100円引き

～虹児の人生を変えた出逢いから95年一詩人ふたたび～
現在、落谷虹児記念館において、虹児と夢二という二大抒情画家による作品展を行っています。また、東京スカイツリータウン・ソラマチ9階においても「郵政博物館開館記念特別展 一少女たちの憧れー 落谷虹児展」3/1(土)～5/25(日)が開催中。

新発田藩の母 瑞雲院様の法要とお墓参り

5/11(日) 10:00～10:30(お墓参りは自由)

瑞雲寺 新発田市中央町1-1-8 ☎0254-22-4584

瑞雲院様は、初代藩主溝口秀勝侯の奥方で御命日は、5/17。昨年より母の日に法要を行っています。自身の母に感謝するとともに、新発田の基を築いた母の墓前に、白いカーネーションを供えますのでお参り下さい。

[同時開催]

瑞雲の日 ちょっと見せたい檀家の「持ち寄り展」(本堂)

5/10(土)・11(日) 10:00～15:00

ご先祖様が残された物、檀家のお友達の品も展示しております。

※駐車スペースはございませんので、お車でのご越しはご遠慮ください。

新発田あやめまつり

6/14(土)～6/30(月)

五十公野公園あやめ園

日本四大あやめ園の一つ。300品種60万本のあやめ(花菖蒲)が咲き競います。あやめまつり期間中、様々なイベントが催されます。

問い合わせ/(一社)新発田市観光協会 ☎0254-26-6789



※新発田城の別名は菖蒲城。また、本間雅晴作詞の歩兵第十六聯隊歌の「我が十六」を「我が菖蒲」として歌うなど、新発田にとって菖蒲は、特別な花です。

5. 菖蒲の季 ^{とき} 新発田の食・酒・織

季節感が失われつつある日常や風習。歴史ある街の食・酒・織を通じて新・旧暦の五月を感じてみませんか…

※菖蒲の街・新発田には菖蒲に因んだものが沢山あります。
菖蒲が咲く季節に、探してみてください。

● 月毎に替わる献立、 平成26年5月にしか食べられない料理

5/1(木)～5/31(土)

手紙 新発田市大栄町7-1-9 ☎0254-21-2950

<http://tegami-shibata.jp/>

17:15～21:00 3,800円(税込)

21:00～L.023:00

※昼の営業12:00～15:00(前日までの要予約)3,800円(税込)

店主のご先祖は、新発田藩御用を務めた料理人。イラストには、女性が手紙に想いを込めている姿と新発田の象徴である菖蒲が描かれる。料理も手紙のように、想いを込めて大切な人に届ける。「二度と同じ料理は出さない。」というコンセプトの元、毎月メニュー替えをしています。新発田で、その時にしか味わえないお料理です。

定休日/水曜・月末日曜 駐車場/店舗裏手 3台分



● “あやめ茄子”の苗の販売

5/1(木)～(売切れ次第終了)

種権種苗店 新発田市御幸町1-2-18 ☎0254-22-2418

<http://tanegon.com/>

慶長8年(1603)創業の老舗種苗店(殿様の移封に伴い、加賀大聖寺より新発田へ)。新潟県下越地方は、日本で最も多く茄子を食べる地域です。舌の肥えた皆様に、タネゴンは自信を持っておすすめします。

※「あやめ茄子」の偽物・類似品にご注意下さい。苗に挿されたタネゴン専売のラベルが目印です。



● 新作「よもぎきんつば」節供限定発売

5/4(日)・5/5(月) 8:30～18:00

御菓子司 菊谷 新発田市大栄町7-4-23 ☎0254-22-2509

新発田藩御用を務めた老舗菓子店。401年間変わることなくつくり続ける「御水飴」や昨年度の名誉総裁賞受賞「義をもって結べし」などで有名。節供にあわせ、邪気を払うといわれる蓬を使いきんつばを作りました。是非ご賞味下さい。1個100円(税別)



● 「よもぎ生麩」、「よもぎ麩まんじゅう」の 限定販売

5/1(木)～5/6(火)、

6/1(日)、6/2(月)

(有)宮村製麩所

新発田市岡田1807-6 食品工業団地内 ☎0254-22-2950

創業明治35年のやきふ、なまふの製造卸。端午の節供限定で販売いたします。お求めは清水園内売店ほか取り扱い販売店まで。



● 邪気払い応援宣言!! 期間限定 「もぎたてヨモギのもぎもぎスパゲティ」

5/1(木)～6/2(月) 11:00～17:00 日曜定休

TAICOや 新発田市中央町1-2-1 ☎0254-26-6269

<http://taico-ya.cocolog-nifty.com/taico/>

邪気を払うと言われている「ヨモギ」を使ったパスタ。サラダ、コーヒー付き900円。ヨモギに胡桃を混ぜてペースト状にしたものをソースにしました。春の香りがにんにくとチーズに絡み合って絶妙な味♪

★新発田菖蒲の節供オリジナルデザイン藍染鯉織の販売店



● 笹団子づくり キッチンココロ・内山商店

6/8(日) 13:30～15:30(受付開始13:00)

会場:健康プラザしゅんじ

新潟の節句といえば笹団子が欠かせません。昨年好評だった笹団子づくり。今年は新発田の結び方も教えます!

定員/20名

料金/800円(笹団子5コおみやげ付)

持ち物/エプロン、三角巾、手拭用タオル

申し込み・問い合わせはキッチンココロまで ☎0254-26-3038

新発田市諏訪町1-9-29 新発田ニューホテルプラザ1F

<http://kitchen556.exblog.jp/>

[GW中も営業いたします]

★新発田菖蒲の節供オリジナルデザイン藍染鯉織の販売店



● 菖蒲の節供飾り (店内)

5/1(木)～6/2(月) 9:00～19:00

泉屋染物店 新発田市大手町1-7-2

☎0254-22-3216

店内にて菖蒲の節供飾りをしています。また、兜のタペストリー、オリジナル図案の鯉織小物、新発田鍾馗他、天然藍染やローケツ染めの作品を展示販売しています。



● 端午の節供のご家族写真 割引特典

5/1(木)～6/1(日) 10:00～18:30

月・火曜定休(祝日は営業)

吉原写真館 新発田市大手町2-6-22

☎0254-22-2056 <http://www.y-ps.com/>

「写真の町・新発田」として有名な新発田。

140年の歴史のある写真館で、ご家族の思い出を残しませんか?

期間中、当チラシ持参で、1,000円割引

※予めお電話ください。



● 端午の節供 特別展示

4/16(水)～6/5(木) 酒造見学9:00～16:00

市島酒造株式会社 展示室内

新発田市諏訪町3-1-17

☎0254-22-2350

市島家に伝わる端午の節供飾りや新発田城内で使用された幔幕(まんまく)を特別展示。



● 金升酒造「蔵カフェ」OPEN

4/12～土日祝祭日 開店10:00～16:00

金升酒造株式会社

新発田市豊町1-9-30 ☎0254-22-3131

<http://kanemasu-sake.co.jp>

新発田藩御菜園の跡地に建つ酒蔵は昭和の雰囲気の色濃く残しています。昭和5年建造の酒蔵や庭園など開放しています。構内を御自由にゆったりと散策できます。酒蔵を改装した「蔵カフェ」ではお酒や酒器などのグッズ販売、コーヒー、ジェラートなどをご用意しています。



6. 新発田藩の医療・福祉の伝統を今に

新発田藩は、医学館を全国で3番目に開設。
5月の節供には、鍾馭様や高砂の絵を飾り、
無病息災や長寿を願った。
そんな藩の伝統をつなぎ、節供に邪気払いをして健康な街へ。

五月の節供 健康講演会

古くて新しい医学～漢方医学

講師／佐藤弘(新潟医療福祉大学教授、東京女子医科大学名誉教授)

5/4(日) 18:00～19:00

長徳寺 新発田市大栄町2-7-22

※駐車場はありません。公共駐車場をご利用下さい。

参加費／500円

“古いけど新しい医学”として再評価されている漢方医学。5月の節供には菖蒲湯へ入って邪気を払うという風習がありますが、こうした風習の中にも漢方医学に通じる教えが含まれています。東洋医学界の重鎮であり、6月開催の日本東洋医学会学術総会で会頭を務める佐藤先生をお招きし、初心者にもわかる漢方の講演会を開催。不調を引き起こす邪気と漢方を通じた体のケアなどをご紹介します。
※現在、東京女子医大東洋医学研究所クリニック、豊浦病院(新発田)にて漢方外来の診察もされています。



主催/問合せ/街角こんぼす株式会社 ☎0254-28-8438

新発田鍼灸マッサージ師会

～各鍼灸マッサージ院での電話無料相談～

5/1(木)～6/2(月)

東洋医学は予防医学でもあります。邪気を払うことが目的の一つである五月の節供。お灸の原料も蓬です。期間中、国家資格のある下記の鍼灸マッサージ院にて電話無料相談をしています。この機会にお身体のお手入れも忘れずに。

- 御嶽治療所 ☎0250-62-2965
- 鍼灸マッサージ院 ☎0254-26-3212
- 五十嵐マッサージ ☎0254-32-1072
- 耕心堂 ☎0254-22-5254
- 投身堂治療室 ☎0250-68-5222
- はりきゅう・マッサージ 小野治療院 ☎0250-68-3339
- はり灸 湧泉堂 ☎0254-26-5303
- 佐藤あんまはり治療所 ☎0254-32-2207
- 鍼・マッサージ室 長寿院 ☎0254-25-2933
- はりきゅう 明寿院 ☎0254-44-8955
- 田坂鍼灸按摩治療所 ☎0254-32-2718
- 徳植鍼灸治療院 ☎0250-63-1892
- 長谷川マッサージ ☎0254-32-2716
- 長生院 ☎0254-24-9838
- 三浦治療所 ☎0254-32-2817
- はりきゅうHome ☎0254-24-2593
- ホームセラピー KATO ☎090-2644-6130
- ぼんだ鍼灸マッサージ院 ☎0254-24-9364
- 下関鍼灸マッサージ ☎0254-64-0389

第4回 バリアフリー映像鑑賞会

6/8(日) ①14:00～、②15:00～

特別養護老人ホーム 豊浦愛宕の園

新発田市荒町甲1611番地13(豊浦病院隣り)

問い合わせ/☎0254-20-2211(豊浦愛宕の園:藤間)

「昭和7年加治川の桜の映像(約5分)」他
車椅子でもご覧いただけ、疲れないように短めの映像を数本選定してご覧いただく予定です。
※一般の方、他の施設の方も入場可能ですが、人数を把握したいので、ご一報ください。



◎新潟映像ギャラリー準備会では、昔の映像フィルム・ビデオ・写真を探しています。ご協力をお待ちしています。(長谷川 ☎090-1693-9696)

7. 全国各地に残る 菖蒲の節供の風物詩

菖蒲や蓬を使い邪気払いをしたり、
5月人形や鯉幟を飾ったり…
各地には様々な風習や行事がありますが、
新発田と縁の深い街の「菖蒲」をご紹介します。

友好都市

石川県加賀市『菖蒲湯まつり』

6/4(水)・5(木)

加賀山代温泉

問い合わせ/山代温泉観光協会

石川県加賀市山代温泉北部3-70 ☎0761-77-1144(代)

<http://www.yamashiro-spa.or.jp/>

1000年の歴史を持つ風習で、無病息災を願って作られた菖蒲御輿を護摩焚きで勤修された後、街中をかつぎ、引き回されると、俵から出た菖蒲の香りが邪気を祓います。最後に菖蒲俵は古総湯に投げ込まれます。



■友好都市 ～石川県加賀市との縁～

豊臣秀吉の命により、初代藩主溝口秀勝侯が、大聖寺(加賀市)より新発田へ入封したという歴史的な縁。

姉妹都市

長野県須坂市『五月人形 菖蒲の節句』

4/25(金)～6/22(日) 9:00～17:00(入館は、16:30まで)

世界の民俗人形博物館

長野県須坂市大字野辺1367-1 ☎026-245-2340

<http://www.culture-suzaka.or.jp/doll/>

15段に250体もの武者人形が並んだ圧巻の展示。他にも、鎧飾りやこいのぼりなど、男の子の健康な成長を願った五月飾りを多数展示。



入館料/一般500円

(版画美術館との共通券)

■姉妹都市 ～長野県須坂市との縁～

※江戸時代に、紫雲寺湯(新発田市)の干拓工事にあった竹前権兵衛と弟小八郎が、須坂市米子出身であることが縁。

オリジナルデザインの藍染鯉幟

新発田菖蒲の節供「オリジナルデザインの藍染鯉幟は、P4掲載の中央商店街の「TAICOや」さん、駅前の新発田ニューホテルプラザ1F「キッチンココロ」さんにて取扱っています。



[問い合わせ]

■(一社) 新発田市観光協会 ☎0254-26-6789

■新発田菖蒲の節供実行委員会(市民有志)

shibata.syoubunosekku@gmail.com

※新発田城内の企画と「新発田菖蒲の節供」全般についての内容以外は、各施設へ直接お問い合わせ下さい。

新発田市への交通

- 自動車:日本海東北自動車道[聖籠新発田I.C.]
- JR:羽越本線・白新線[JR新発田駅下車]
- 空路:新潟空港より、車で30分程度

ご宿泊は

月岡温泉観光宿泊案内所(旅館組合)
☎0254-32-2975-3151
<http://www.tsukiokaonsen.gr.jp>